



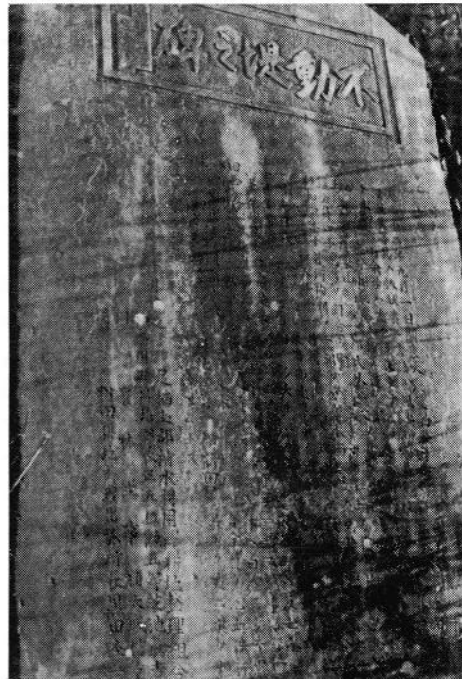
山北町用沢の 不動堤之碑

国道 246 号線を神奈川と静岡の県境に近い川西で丹沢湖・中川温泉方面に曲り、さらに河内川ぞいに 2Km ほどのぼった用沢集落のはずれに不動堤の碑がたてられています。

大正十二年九月一日関東大震災勃発シ家屋ノ倒壊山林ノ崩潰耕地ノ埋没流失其ノ惨状実ニ言語ニ絶セリ 殊ニ湯触区大蔵野地先河内川沿岸ノ水田六町余歩ハ悉ク流失シテ河原ニ変ズ 住民ハ為ニ唯一ノ生活資源ヲ奪ワレ疲弊困憊其ノ極ニ達シ將ニ破産離郷者ヲ見ムトスルニ至レリ

(釈註) このような状態を心配した、この土地の篤農家山崎喜一郎氏は部落全員 49 名を糾合して、昭和 5 年 11 月に用沢耕地整理組合を設立し、耕地の復旧・拡張工事を推進しました。

昭和九年八月末日全工事ヲ完成ス 護岸延長四百六拾六間 水田ノ造成參町八反七畝余 復旧水田四反七畝余 遺路溝渠整然トシテ茲ニ面目ヲ一新ス 総事業費四万六千八百円余



労務ニ従事シタル延人員実ニ參万五千八百人ニシテ県補助金二万參千六拾円余ヲ交付セラル 本護岸堤ハ組合ノ心血流汗ノ結晶ニシテ特ニ不動堤ト称シ排地ヲ喜一郎新田ト名ツク

この碑は、工事が完成してから 2 ヶ月後の昭和 9 年 10 月に建てられました。

(平野 富雄)